ふれあい

第111号

社会福祉だより

■発行
社会福祉法人
九重町社会福祉協議会
九重町大字後野上17-1
TEL 0973-76-2500㈹
0973-76-3267
FAX 0973-76-3835
Eメール:smile9@oct-net.ne.jp
ホームページ:九重町社会福祉協議会 検索

九重町民生委員児童委員協議会　（５月全員協議会）
住民の方々が安心して暮らしていくために福祉のまちづくりを推進しています（詳しくは４ページに掲載しています）

令和５年度 九重町社会福祉協議会事業報告

生活支援・支え合い活動について

- いきいき夢サロン（505回　延べ4,043名）
- 多世代交流共生共食の場
  - 東飯田地区 12回　643名、野上地区 11回　484名
  - 飯田地区 12回　616名、南山田地区 12回　649名
- 軽度生活援助事業　95件　200.75時間
- ささえあいサービス事業　251件　643.5時間
  - くらしのサポートセンター東　252件　439.53時間
  - くらしのサポートセンター飯田　77件　171.25時間
  - くらしのサポートセンター南　56件　119.5時間
- ふれあいプラザサロン（46回　延べ534名）

ボランティアセンター事業について

- ボランティア基礎講座（４回　延べ24名）
- 手話奉仕員養成講座（23回　延べ119名）
- 献立検討委員会（６回　延べ29名）
- 玖珠郡災害ボランティアネットワーク協議会研修会（2回　延べ160名）ほか

介護予防事業について

- ほほ笑み教室（83回　延べ929名）
- 通所型短期集中リハビリ教室（93回　延べ627名）
- 訪問型短期集中事業（74回　延べ165名）

介護保険事業

- 通所介護事業
- 訪問介護事業
- 訪問入浴介護事業
- 居宅介護支援事業

障がい者福祉サービスについて

- 障がい者ホームヘルプサービス事業
- 障がい者デイサービス事業
- 障がい者相談支援事業　など

地域福祉活動

- 福祉器具の貸出（29件）
- ふれあい備品貸出（65件）
- 無料法律相談所の開設（６日　33件）
- 障がい者年金相談所の開設（６日　０件）
- 生活福祉資金貸付事業（緊急小口貸付　２件）

九重町地域包括支援センター

- 九重町地域包括支援センター（対応件数4,843件）
- 総合相談支援業務（362件）
- オレンジフェスタ2023開催
- オレンジカフェ開催（23回　127名）
- 認知症サポーター養成講座（５回　延べ61名）

児童福祉について

- 子育て交流センター（248日開館、延べ9,612人）
- 児童館特別活動（56回、延べ905人）
- 児童ふれあい交流事業
- ブックスタート事業
- 図書、おもちゃ図書館（772個）　など

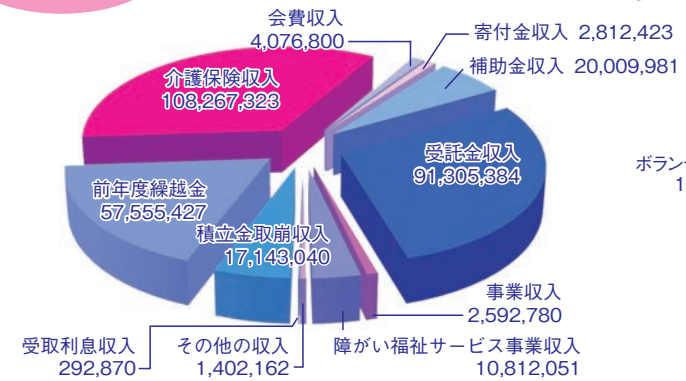
その他の事業

- コスモスのつどいの実施（２回、延べ55名）
- 広報紙発行（「ふれあい」３回、「すまいる」９回
- ふれあい郵便事業（毎月約410名、延べ4,924名）
- 日常生活自立支援事業（204件支援）
- 生活困窮者自立支援事業（相談件数 88件）
- 第22回福祉ふれあい祭り・第49回社会福祉大会の開催（被表彰者５団体・16名、参加者約300人）　など

令和５年度 九重町社会福祉協議会収支決算書

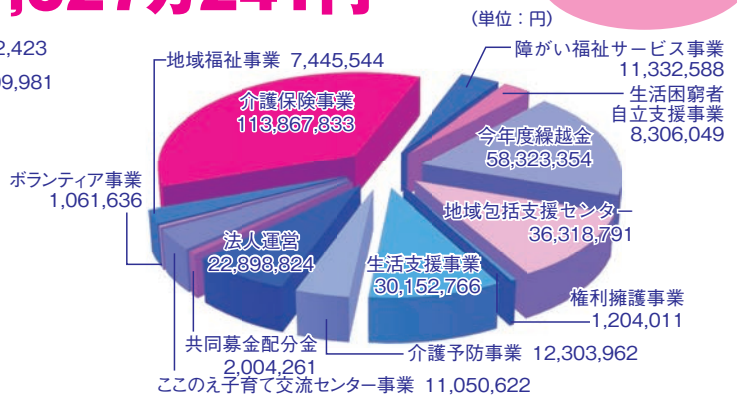
収入の部

決算額　3億1,627万241円



支出の部

（単位：円）



＜皆さんより頂く会費や寄付金は次のように使われました。＞

（会　費）　**4,076,800円**

- ボランティアセンター事業の一部 …… 515,593円
- 生活困窮者自立支援事業の一部 …… 353,049円
- 各種団体助成金 …… 1,640,000円
- 広報活動の一部 …… 68,750円
- 事務費等の一部 …… 1,499,408円

（寄　付）　**2,812,423円**

- 地域福祉活動推進事業の一部……1,360,069円
  （マイクロバス等の維持費、地域福祉活動等）
- 第22回福祉ふれあい祭り・第49回社会福祉大会 …… 184,200円
- 軽度生活援助事業の一部 …… 44,157円
- 生活支援事業の一部 ……1,223,997円

令和６年度 九重町社会福祉協議会事業計画

基 本 目 標

基本目標１
支え合いとふれあいのある地域づくり

1．支え合い意識の醸成と近隣のつながりづくり
2．活動の場と交流・寄り合いの場づくり
3．ボランティア・支え合い活動の推進
4．地域共生、福祉教育の啓発・普及
5．九重町地域福祉計画との整合性・一体的推進

基本目標２
誰も取り残さない、安心して暮らせる地域づくり

1．包括的支援事業の推進
2．相談しやすい体制づくり
3．地域福祉権利擁護事業の充実推進
4．孤独、孤立を防ぐ見守りネットワーク、住民活動の推進
5．在宅生活を支える福祉サービスの充実
6．子育て支援事業の推進

基本目標３
誰もがいきいきと暮らせる地域づくり

1．支援を必要とする人への自立支援
2．認知症と共に生きる地域づくり
3．つながりが生れる地域づくり

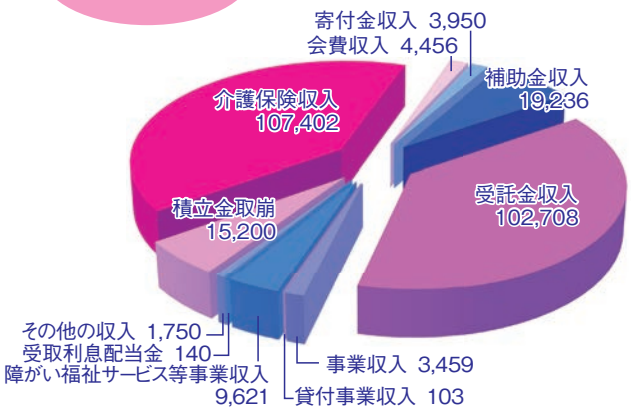
基本目標４
安定した法人運営と信頼される組織づくり

1．社会福祉協議会の経営改善・再構築
2．各種募金事業の推進

令和６年度 九重町社会福祉協議会当初予算

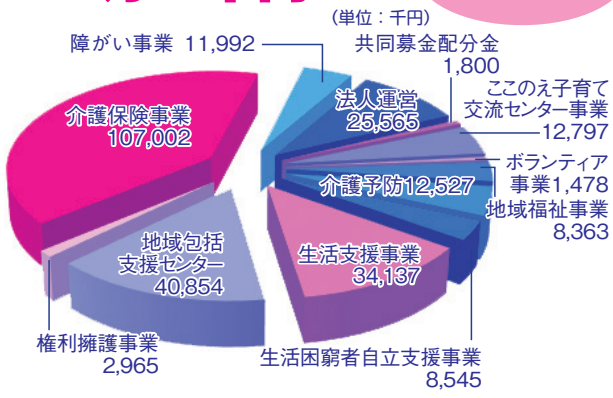
予算総額　２億6,802万５千円

収入の部



支出の部

（単位：千円）



＜皆さんより頂く会費や寄付金は次のように使われます。＞

（会　費）　4,456,000円

- 生活困窮者自立支援事業の一部 …… 592,000円
- 各種団体助成金……2,664,000円
- ボランティアセンター事業の一部 …… 689,000円
- 事務費等の一部…… 511,000円

（寄付金）　3,950,000円

- 地域福祉活動推進事業の一部…… 1,190,000円
  （地域福祉懇談会、マイクロバスの維持費等の一部）
- 福祉ふれあい祭り・社会福祉大会経費 ……916,000円
- 広報誌発行 …… 360,000円
- 軽度生活援助事業 …… 190,000円
- 生活支援事業の一部 …… 1,294,000円

令和6年度もご支援ご協力を
よろしくお願いいたします。

九重町民生委員児童委員協議会

九重町の民生委員児童委員は41名の民生委員・児童委員（うち４名は主任児童委員）が活動しています。

九重町民生委員児童委員協議会では、毎月全員協議会を開催しスキルアップや幅広い知識を身につけるために高齢者や障がい者・児童・防災・人権等に関する講義を受け、頼れる身近な相談相手として地域の皆さんのお役に立てるように委員活動に励んでいます。

今後も、活動スローガンである「支え合う 住みよい社会 地域から」をもとに、地域住民の立場に立ち、地域住民や関係機関･団体と連携、協力しながら支え合いの地域づくりをすすめていきます。

今後の活動に活かせるように、民生委員児童委員になって良かったことや活動で困ったことなど、グループワークで意見を出し合いました。

「傾聴」についての講義を受けています

福祉委員（区長）との意見交換会

複数の行政区を受け持つ民生委員児童委員の皆さんは、担当地区の福祉委員の方々と顔を合わせることで行政区内で見守りが必要な方々や住民の困りごと等の情報を共有することができ、さらに連携をとることで問題の深刻化を防ぐことができます。

野上地区

東飯田地区

南山田地区

飯田地区

地域での活動

訪問や見守りの他に担当地区でのマップづくりに参加し、地域のみなさんと生活課題や気になる方や非常時の避難や支え合いについて共有しています。また、サロンやふれあい地域食堂に参加し日頃からのつながりをつくっています。

サロン

マップづくり

ふれあい地域食堂

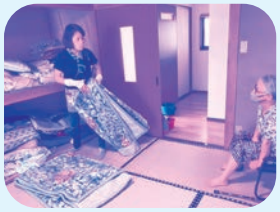
くらしのサポートセンター活動報告

安心して在宅生活を続けていくために

くらサポ会員募集中

～誰もが安心してくらし続けられる共生の地域をめざして～

くらサポ東では今年度６年目を迎え、草刈り等の外作業、病院受診等の外出支援の他に「終活」や「衣替え」といった依頼内容が増えてきています。季節に合わせた快適な生活が送れるよう一人では億劫な整理整頓も、利用会員のできることを応援しながら一緒に作業を行います。作業を行う中で「ずっと気になってたのが片付いて、気持ちがスッキリした～、ありがとう」「そんなに喜んでもらえて、こちらこそありがとう」とお互いに感謝の気持ちがこみ上げます。互いに助け合い、安心することで、在宅生活の維持へとつながる。そんなつながりが増えつつあります。



今年２年目を迎えたくらサポ飯田は、今年の取り組みとして出張（庭先）カフェに力を入れています。カフェの開催をきっかけに、サロンが立ち上がってないところや、これまで同じ地域にいながら接点のなかった方の家に出向くことで地域の方々がカフェで出会い、馴染みの関係になり、相談に乗ったりと、豊かな関係が生まれています。こうしてくらサポが、生活の困りごとの解決をする生活支援の組織から､本来の目的である「人と人、人と地域のつながりを取り戻す活動」へと進化してきています。

くらサポ南では退職と同時に声をかけられ、今年新しく活動会員なった二人も早速活動開始！高齢者宅の庭の手入れに汗を流しました。

「まだ忙しいので…」と会員登録を躊躇されている方もいますが、くらサポは「できる時に　できる人が　できることで」をモットーとしています。一年に数回でも結構です。

誰もが安心してくらせる地域づくりの輪にあなたも入りませんか？

くらしのサポートセンターについてのお問合せ・作業依頼、カフェの申し込み

くらサポ東（東飯田地区）	東飯田公民館内	電 話：76-3116
くらサポ飯田（飯田地区）	飯田公民館内	電 話：79-2251
くらサポ南（南山田地区）	南山田公民館内	電 話：78-8801

九重町のお宝！ 多世代地域食堂

参加者・食材 募集中

平成29年に九重町に誕生した多世代地域食堂。こどもから高齢者まで、地域に住む誰もが参加できる場として多くの方々に親しまれてきました。食堂を支えているのはボランティアである実行委員の皆さんと、「よかったら使って」と地域の皆さんから寄せていただいている野菜やお米などの食材です。最近は様々な団体からもあたたかい支援をいただけるようになりました。野矢地区にある「愛彩ファーム九重」からは、新鮮なパプリカと卵が毎週届きます。時々届くゼリーや乳酸飲料をこどもたちはとても楽しみにしています。また大分市にあるフードバンクおおいたから、大分朝日放送の職員さんがいろんな食材を車に満載して毎月１回、九重町まで運んできてくれています。もちろん「公民館まで持っていけんので、取りに来てくれますか？」という声も大歓迎です。地域食堂は、みなさんからの善意とたくさんのありがとうが響き合う地域のお宝！あたたかい場所です。

参加支援がはじまりました！

「こどもにとっては地域デビュー、高齢者にとっては地域再デビューの場」をキャッチフレーズに、食と遊びと語らいを通じて、世代を超えた「馴染みの関係づくり」に取り組んできた多世代地域食堂も7年目を迎え、新たな取組みとして**「参加支援」**が始まりました。これは近隣の方の車に加え、当日使用していない社会福祉協議会の車を活用して、地域の有志の方々が運転や添乗を行い、まだ食堂に参加したことのない公民館から離れた場所にお住いの方に地域食堂の良さを体験していただく取組みです。先月は田尻、栃木、猪牟田、狭間の皆さんが初めて食堂に参加。「前から来てみたかったんよ！」「もっと早く来ればよかった！」「うん十年ぶりに同級生に会った！」と久しぶりの再会や世代を超えたふれあいに感激。別れの集いでは、「また来るよ」「元気でね」と笑顔で握手を交わし、来月へ思いを馳せる皆さん。次はあなたの地区からの参加をお待ちしています！

「参加支援」の利用を希望される方は、**申込み**が必要です。これまで参加したことのない地区の皆さん、誘い合って参加してみませんか？

多世代地域食堂についてのお問合せ・食材提供・参加支援の相談、申し込みは
九重町社会福祉協議会　地域福祉課　　電 話：76-2500
会場は各地区の公民館（第一土曜 野上、第二土曜 飯田、第三土曜 東飯田、第四土曜 南山田）

九重町地域包括支援センター便り

高齢者向け
夏の雑学クイズ
ー血圧編ー

夏空の雲が一段と白く輝き始めるこの頃ですが、夏は高齢者が体調を崩しやすい季節でもあります。夏を元気に乗り切るために必要な知識を盛り込んだクイズに挑戦してみましょう。

第１問
薄口醤油は濃口醤油より塩分が少ない。

第２問
手軽なウォーキングやストレッチ、ラジオ体操のような少し汗が出る程度の運動でも、生活習慣病予防に十分な効果がある。

第３問
高血圧は頭痛やめまいが増えるので自覚症状がある。

第４問
血圧を１日１回計るならば、測定するのに適している時間帯は朝食時である。

第５問
病院受診時のみ血圧が高くなることを「白衣高血圧」という。

解答

第１問　×
薄口醤油の塩分は１８％、濃口醤油の塩分は１６％です。薄口醤油のほうが実は塩分濃度が多いのです。塩分の摂りすぎに注意。

第２問　○

第３問　×
高血圧は自覚症状がほとんどなく、脳梗塞・心筋梗塞など命に関わる病気の原因になります。

第４問　×
朝起きて、排尿した後が測定するのに一番適しています。

第５問　○
逆に自宅で測った血圧が高いことを、受診時には高血圧が隠れていることから「仮面高血圧」と呼びます。自宅で測った血圧値が重要です。

皆さん、何問正解しましたか？
血圧が高い状態をそのままにしておくと、動脈硬化を促進し、脳卒中や心疾患、慢性腎臓病などの重大な病気につながります。
水分を十分に摂って、この夏もお元気にお過ごしください。

令和６年度　九重町地域包括支援センター 職員体制

＊担当地区は一応決めていますが、担当地区以外のことでも柔軟に対応しています。
＊職務内容以外にも職種で連携して業務を行っています。

お気軽にご相談ください　電 話:76−3863　FAX:76−3835

私たちが担当します

氏　名（職　種）	担当地区	職　務　内　容
佐　藤　三　鈴（主任介護支援専門員）	東飯田	介護支援専門員への指導、助言や関係機関との調整を行います。
永　楽　直　子（介護支援専門員）	飯　田	介護保険で要支援の認定を受けた方の介護予防ケアプランを作成します。
藤　本　理　香（保健師）	南山田	高齢者の方々が住み慣れた地域、ご自宅でいつまでも過ごすことができるように、また、要介護状態にならないように、相談窓口や電話など、様々な場で相談や情報提供、アドバイスを行います。
熊　谷　智　美（社会福祉士）	野　上	高齢者に対する虐待や悪質な訪問販売、成年後見制度利用支援など、高齢者の生活や人権を守るための権利擁護業務を行います。
後　藤　哲　也（認知症地域支援推進員）	全地区	認知症の人やその家族を支援する相談業務や、医療機関や介護サービス及び地域の支援機関の間の連携を図るための支援等を行います。
赤　峰　勝　也（事務員）		月例報告書、業務日誌などの作成と管理、請求業務の補助を行います。

福祉共育～淮園小学校の取り組み～

同じ地域に住む高齢者と交流しよう

淮園小学校の２、３年生が、校区内の高齢者の方々を訪問しふれあい交流をしました。

このふれあい交流は、福祉共育の一環として淮園小学校の「防災の取り組み」の授業と合同で行われました。地域の方とのつながりの大切さを学び防災に活かしていこうと、自分たちが描いた絵手紙を持ち、子ども達は３班に分かれて地域の方の家を訪問しました。

町の頼れる電機屋さん！
昔なじみのお客さんから連絡があるとすぐに修理にかけつけています

防災意識の高さにビックリ！
非常時に備え、防災バッグを枕元に置いている話を聞き子ども達にも防災意識が伝わりました

体操教室・サロンにも参加するパワフルシニア！耳が聞こえにくいことがわかると近くでゆっくり話すやさしい子ども達

パソコンも使いこなす地域のリーダー！心を込めて描いた絵手紙を渡すととても喜んでくれました

庭木の剪定も自分でします！
昔を思い出しながら、一緒にあやとりをして楽しみました

元気な生涯現役美容師さん！
災害時等も自分にできることがあるかもしれないと意欲的です

今も現役で仕事をしていたり、自分の好きな生け花や草木の剪定作業をしたり、夢中になれることがある元気な高齢者と交流して、子ども達はとても驚いていました。

また、訪問した高齢者の自宅を自分たちが作った防災マップに書き込むことができ、より進化した地域のつながりマップが完成しました。

今回の交流を通して顔なじみの関係になり、『ささえあいの地域づくり』へと続く事を期待しています。

ここのえ子育て交流センター

電話　73−2666　/　FAX　73−2670

＜交流センターで貸し出しています＞

- ●本　3373冊
- ●DVD　94枚
- ●おもちゃ　172個

積木で遊ぼう！

4月より、みつばこども園の4歳児・5歳児クラスの子どもたちが積木遊びに来てくれています。たくさんの積木をつかって鯉のぼりや遠足バスを作ったり、また各々がつくった建物を道でつないで大きな町をつくりました。黙々と取り組む真剣な横顔、完成したときの達成感に満ちあふれた笑顔がたくさん見られました♪

毎週土曜日は10時から積木遊びをしています。7月のテーマは「ピラミッドづくり」です。親子で積木遊びを楽しみませんか？

積木遊びは活動日以外のときもできますので、お気軽にお声かけください。

すみれ組（バス）

ちゅうりっぷ組（バス）

さくら組（鯉のぼり）

たんぽぽ組（道つなぎ）

源流探検

「みなさんは川の始まりを知っていますか？」

5月18日、九重ふるさと自然学校との地域連携事業で小学生と飯田のタデ原湿原へ行きました。植物や虫の名前など、子どもたちの疑問に九重ふるさと自然学校のスタッフの方が優しく教えてくれました♪

その後、長者原ビジターセンターへ行き、ハイビジョンシアターを観たりクイズラリーをしたり、九重町の雄大な自然を満喫した一日でした。

ここのえ介護事業センター

《お問い合わせ》
☎76－3267

デイサービス便り

デイサービスのご利用日は、
月曜日から土曜日まで。
毎日30数名の方々が楽しくご利用しています。

たまねぎの収穫をしました

デイサービスの畑で育てた玉ねぎの収穫や夏野菜の苗を植える準備をしました。
天気も良く気持ちの良い風がそよぐ中、たくさんの玉ねぎを収穫することが出来ました。
次はナスやミニトマトの夏野菜苗を植えたので暑さに注意しながら野菜達の成長を皆さん楽しみにしています。

今年の玉ねぎは立派に
できちょる！！

よー、草がはえちょーわ（笑）

写真？
えっー、恥ずかしい
ピース！(^^)！

ナスがよーけ
なるといいのぉ

みてん！！
ばされ大きい玉ねぎじゃ！！

あたたかい心の輪

ありがとうございます。

令和六年三月～令和六年六月までの間に次の方々から社協へ香典返し等数々のご寄付をいただきました。紙面をもって厚くお礼申し上げます。ご寄付のご厚志は社会福祉の推進のため、有意義に活用させていただきます。

ご寄付いただいた方々にご了承いただき、お名前や金額等を掲載しています。ご希望により省略する場合もあります。（受付順・敬称略）

◎香典返し（二十九件）

▽三月
・一万円也　亡母美恵子
・五万円也　中村　清川卓史様
・五万円也　亡母三夜子
・二万円也　書曲三　中西義春様
・二万円也　亡父髙野克己
・金一封　須久保　森川和樹様
・金一封　桐木二　亡母ハマ子
▽四月
・二万円也　亡父　清城
・五万円也　梶屋　松岡結城様
・五万円也　青山通り　亡妻イソ子
・金一封　森　聖様
・一万円也　鹿伏　佐藤秀信様
・一万円也　木納水　亡父　健
・五万円也　木納水　日野　豊様
・五万円也　木納水　亡子　吉孝
・五万円也　木納水　江藤富勇様
・五万円也　中板　亡母ミチヨ
・三万円也　北九州市　江藤光廣様
・三万円也　北九州市　亡父　恒喜
・三万円也　北九州市　小野東洋様
・三万円也　井手　亡母ムツ子
・三万円也　横尾　亡母一二三
・三万円也　香下一雄様
▽五月
・三万円也　湯坪下　亡父　格雄
・一万円也　田代　渡邊恵文様
・三万円也　相狭間　亡母　末子
・三万円也　相狭間　岩尾浩二様
・三万円也　相狭間　亡夫　長生
▽六月
・五万円也　川東下　小笠原末子様
・金一封　黒猪鹿　亡母　峯子
・金一封　北方上　佐藤紀美子様
・五万円也　重原　亡母ミユキ
・三万円也　荻釣上　白地清二様
・三万円也　中村中一　亡父　宗典
・三万円也　相狭間　甲斐信也様
・三万円也　陣の内上　亡母ミヤ子
・金一封　亡伯母左藤ミヱ子　佐藤紀明様
・三万円也　横尾　田中直子様　亡母　綾子
・金一封　見留　麻生孝治様　河野保則様
・一万円也　鹿伏　亡父銑一郎　亡父千代喜
・金一封　南区　佐藤広彦様　有吉勝藏様
・金一封　池永美砂子様　亡夫　保雄　亡父　美徳
匿名希望様　一名　佐藤貴重様
亡母　澄子
今給黎美友様
匿名希望様　二名

◎特別寄付（五件）

・二万二千二百五十五円也　食と命を考える会　代表　日野優一様
・金一封　NOSAIおおいた　中西部支所女性部「リベルテ」玖珠支部様
・五万円也　泥よこい歌と踊りの祭典　実行委員会様

ご活用ください！

レク備品貸し出します！

備品No.16　省エネカルタ

省エネカルタは１年間の節約金額や節約のコツを表示した絵札がおもしろく参考になるカルタです。カルタ遊びを通じて省エネについて理解し、日常生活に取り入れてみましょう。

九重町社会福祉協議会ではほかにも【たいこ相撲】【思い出カルタ】など、全部で32種類の備品を貸し出しています。

対象は町内の団体等、貸出期間は２週間、料金は無料です。

詳しくは、九重町社会福祉協議会までお問い合わせください。（☎76－2500）

シリーズ 町の幸齢者さん

九重町で90歳を過ぎて生き生きと暮らしている高齢者の方＝幸齢者の方に元気の秘訣をお伺いします。

NO.26　東飯田　北恵良二

森　トシ子さん（95歳）

Q.元気の秘訣は何ですか？
A.草取りなど出来るだけ体を動かすことです。

Q.楽しみは何ですか？
A.読書、配りものを読むことが楽しみ。

Q.これからの目標を教えてください
A.花や庭木の世話をすることです。

「幸齢者さん」の情報は、九重町社会福祉協議会（76-2500）までお電話を！自薦・他薦は問いません♪お待ちしています！

季節の植物

【サトザクラ】

佐藤　三千代（みちしろ）

関東南部の暖温帯に分布し、特に伊豆大島に多いのでオオシマザクラの名がある。

花期は遅くソメイヨシノやヤマザクラより遅い。自生品は白色で20mを超す大木になる。花色・花弁数などに変異が多く昔から観賞価値の高いものが栽培されてきた。

そのためサトザクラや八重桜と呼ばれるようになった。ヤマザクラに似たようなところもあるが、サトザクラは葉の裏が緑色で遅咲き、やや大きな花と花時伸びた若芽が緑色で区別できる。桜餅を包むのにこの葉を塩漬けにして使う。花も同じ香りがする。

花色と花弁の数にもいろいろあり多くの品種がある。品種は花色が純白、つぼみは紅色で白から淡いピンクに変わる上品な淡紅色、紅色等がある。黄桜、緑桜、花弁数が多い菊桜もある。

〝いにしえの奈良の都の八重桜　今日九重に匂ひぬるかな〟

白い桜の「奈良の八重桜（やえざくら）」はカスミザクラの栽培品で奈良の知足院にあり国の天然記念物です。一方興福寺の僧侶が好んだ淡い色の「楊貴妃」も気にかかります。

サクラといえばソメイヨシノが普通ですが故郷の桜は天狗巣病がひどい。もっと手入れをするか別のものを植えることも考えてみては??

サトザクラ

今月のちょっと一言

今年は梅雨入りが遅くなりましたが、この「ふれあい」が皆様のお手元に届くころには梅雨が明けて、毎日暑い日が続いていることと思います。

日本は四季があり季節の移ろいに心を和ませられる事もあれば、雨・風に不安を覚える事もありますよねぇ～。今はそんな季節。雨が少なければいつか又、大雨で災害が起きるのではと不安になってしまいます。

こんな時こそ地域で防災の事をしっかり考えなくてはと思っています。「自分の命は自分で守る」自分が助からないと他人は助けられませんものね。寝る時はそばに最低限の非常持ち出し備品（履物・ライト・笛・ラジオ・携帯電話）を用意しましょうね。

（野上　香代子）

◆社協会員加入のお願い◆

社会福祉協議会の福祉事業は、皆様方よりお寄せいただく会費、寄付金などを財源として行われています。社会福祉協議会をご理解いただき、ぜひ会員としてご加入いただきますようお願い申し上げます。

●障がい者福祉のために
●ボランティア育成のために

会費は次のとおりです

■普通会員　　年額一口　1,500円
■特別会員　　年額一口　3,000円
■特別賛助会員　年額一口10,000円

会費の取りまとめは
各行政区の福祉委員（区長）さんに
お願いしています。